

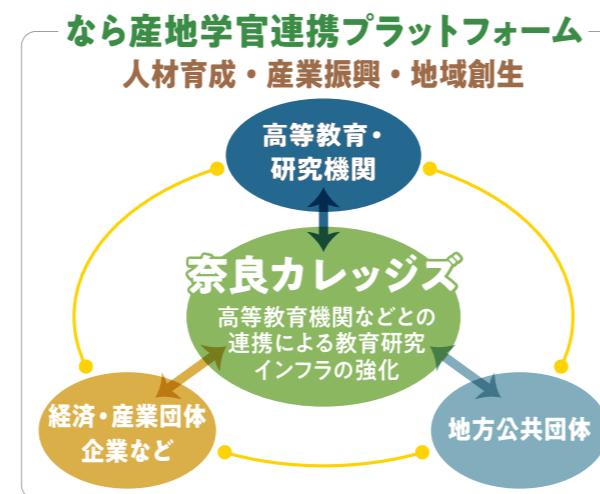
奈良カレッジ 連携推進センター

奈良カレッジズ連携推進センター

奈良カレッジズ連携推進センターは、「奈良カレッジズ構想」を推進し、地域や社会が抱える課題解決に向けたイノベーション創出や、連携による成果の教育研究および社会への還元に取り組むことを目的として、令和4年4月1日に設置されました。4部門専門部会を設け、奈良国立大学機構が運営する奈良教育大学および奈良女子大学の教員をセンター員とし、外部機関との連携により地域や社会が抱える課題解決に向けたイノベーション創出や、連携による成果の教育研究および社会への還元に取り組んでいます。当初、主に教育・研究機関等の連携からはじまった「奈良カレッジズ構想」は、自治体や民間企業等との連携も深め「なら産地学官連携プラットフォーム」として広がり、人材育成・産業振興・地域創生のための取組を推進しています。

奈良カレッジズ機関

奈良教育大学、奈良女子大学、奈良県立大学、奈良先端科学技術大学院大学、奈良県立医科大学、奈良工業高等専門学校、奈良国立博物館、奈良文化財研究所、奈良県立橿原考古学研究所



● 協働推進部門

p.4, p.5

- 地域の企業、自治体等と連携・協働して地域課題に取り組む「なら産地学官連携プラットフォーム」を運営しています。
- 産学官連携コーディネーターを配置し、共同研究やプロジェクトを推進し、企業や地域の課題解決のために機構の研究成果を還元しています。(研究成果の情報発信、共同研究のコーディネート)
- アントレプレナー教育による次世代の社会課題の解決を担う人材を育成しています。



● 学学連携部門

p.3

- 奈良カレッジズ構想のもと、県内高等教育機関、研究所との連携・協働体制を構築し、教育の連携を推進しています。
- 教育連携の取組として、各機関のリソースを活用した「学問祭」を実施しています。



● 異分野交流プロジェクト推進専門部会 (NUcross)

p.8

両大学の教職員、学生が研究、研修を進め、専門分野を越えた学際的な協働を通じ、学外とも連携し異分野・異世代交流を推進しています。



奈良カレッジズ学問祭

両大学が法人統合したことをきっかけに奈良カレッジズ学問祭が誕生しました。奈良カレッジズ学問祭は、両大学に通う学生に、学問の面白さや奥深さを感じてほしいという願いから生まれた教育イベントです。

奈良が誇る伝統文化や芸術遺産をはじめ様々な学術分野における最先端の知見を「一講義完結方式」で、合計15コマを受講者に提供しています。講師には、両大学の教員に加え、奈良カレッジズ参画機関等から研究者を迎えており、普段の大学の授業では出会えない様々な分野に触れられる1週間です。

学問祭は本機構が主催・運営していますが、両大学に「諸学への誘(いざな)い」という教養科目を設置し、各大学で単位認定を行っています。

令和7年度からは、なら産地学官連携プラットフォームに参画する大学等と連携し、奈良県内の大学等に通う学生も聴講できるようになりました。また、県内の高校生も聴講できるようになりました。なお、一部の大学では聴講だけでなく単位認定を行っています。

また、学問祭開催期間においては、講義の他、企業と学生の交流会等、地域を盛り上げるためのイベントを同時開催しています。



詳しくはこちら

<https://www.nara-ni.ac.jp/research/gakumonsai/>



● 地域実践部門

p.7

- 両大学の教育・研究リソースを活用して奈良県南部東部地域の課題解決の取組を推進しています。
- 奈良県南部東部地域の町村に大学と地域が連携した事業の活動拠点として、エクステンションセンターを設置し、特任教員を配置して、地域住民、自治体、企業と本機構が連携した地域活性化への取組を推進しています。



これまでの講義の一例

()は講師の所属機関

<令和7年度>

- 「微生物の魅力と可能性」(奈良先端科学技術大学院大学)
- 「日本文化と国際社会」(橿原考古学研究所)
- 「学際研究のすすめ - 観光と宇宙」(奈良県立大学)
- 「作業療法の視点で考える認知症支援と地域共生のカタチ」(奈良学園大学)

<令和6年度>

- 「博物館で広がる考古学研究の世界」(奈良国立博物館)
- 「南極氷床変遷史を東南極から見る」(奈良女子大学)
- 「奈良の建築からアジアを見る」(奈良文化財研究所)
- 「声楽って何?」(奈良教育大学)

聴講した 学生の声

- 勉強して色々と知ったつもりでいたけれど、自分からアクセスしなかったから知らないことが沢山あるのだなと思った。
- 90分で自分が興味のある分野の学問研究を紹介してもらえて、聴講して良かった。普段あまり授業を聞くことができない先生方から話を聞けたり、各分野で先生方が近年取り組んでいる活動についても聞くことができ、楽しかった。





なら産地学官連携プラットフォーム

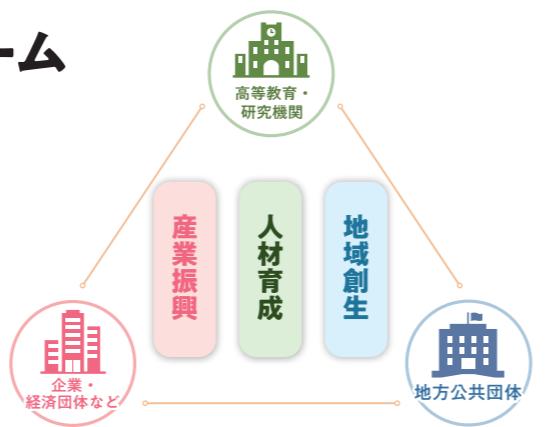
奈良県内の産業界、地域・住民、高等教育機関、地方公共団体等が連携・協働し、新たな価値を生み出す基盤として、なら産地学官連携プラットフォームを2023年11月16日に設立しました。

産学官が連携したタスクフォースを設置し、地域の重点課題である人材育成、産業振興、地域創生のための共創活動を推進しています。

本センターがプラットフォームを運営するための事務局として大学、企業、自治体等の橋渡しを行うとともに、各共創活動に対してコーディネーターによるアドバイス等の支援を行っています。

会員 42機関（令和7年10月時点）

国・地方公共団体：8 高等教育機関・研究所：11
経済・産業団体：6 企業等：17



PF参加大学研究シーズ集

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/platform/seeds/

主な事業

奈良県内における若者の活躍支援や若者の奈良への定着を目的として次のような事業に取り組んでいます。また、その他にも奈良県内の大学による合同入試相談会や、企業と研究者の交流会を開催しています。

学生と企業・自治体等との交流会

大学生等と地元企業や自治体等との交流会を実施し、若者の奈良への定着を推進しています。



これまでの実績

参加企業・自治体数：33
参加学生数：96名
学生満足度：100%

参加した学生の声

- 今回参加しなければ知ることのできなかった仕事を知ることができた。
- 興味のなかった市町村に興味を持った。

参加した企業の声

- 学生の思いや考えを知ることができた。
- 普段の説明会等では話せない本音も踏まえた対話ができる。

合同入試相談会

奈良県内大学・大学院の魅力を高校生・大学生に向け、若者の県内進学と定着を目的として開催しています。



PFの取組の詳細はこちる

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/platform/index.html

メンタリング支援制度

経験豊かなメンターを配置し、メンタリングによる学生への伴走型支援を実施しています。学生が、奈良県内で地域活性化や地域課題解決を目的に取り組む活動における、活動計画策定や仲間づくり、活動に必要な情報を提供しています。

これまでの実績

「地域に飛び出す学生支援事業補助金」に採択された学生団体等に対し、メンタリング支援を13回実施しました。



メンタリング支援の様子

学生活動発表会

奈良県内の特色ある学生活動を広く情報発信することで、学生活動の可能性、更なる支援方策を考え、今後の取組の発展を支援しています。



学生活動発表会（令和7年3月）

これまでの実績(令和6年度)

参加学生数：37名

企業と研究者の交流会

本プラットフォームに参加する大学の研究者の研究内容や企業の課題を互いに共有し、研究者と企業が意見交換を行う交流会を開催しています。



PFの取組の詳細はこちる

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/platform/index.html

研究成果の社会実装・産学官連携

協働推進部門では、大学の研究成果を社会に還元し、社会実装を進めるために、各教員の研究成果の発掘や権利化、研究成果の社会への発信、研究プロジェクトの組織化、企業との共同研究や競争的研究資金への申請支援、スタートアップ支援等を進めています。

企業からの大学への共同研究や技術指導等についてのお問い合わせ、ご相談にも応じています。

共同研究等のコーディネート

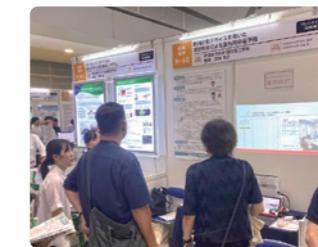
大学と産業界との橋渡しを行い、企業との共同研究等のコーディネートや競争的研究資金の獲得等を通じて研究成果を社会実装します。

研究シーズ集



奈良教育大学

奈良女子大学



展示会への出展



わらべや日洋食品株式会社と奈良女子大学生活環境学部齋藤公美子助教・高村仁知教授との共同研究により、栄養価の高い玄米粉を使用したシュー生地の開発と焼成技術を確立。大阪・関西万博会場内の2店舗で販売。



新産業共創たわらもとReBornプロジェクトに奈良女子大学から2名の教員が参加

スタートアップ支援

教員、学生からの起業についての相談対応、起業機運醸成、KSAC（関西スタートアップ・アカデミアコアリション）－GAP ファンドへの申請支援などを通して、大学の研究成果をもとにしたスタートアップの支援を進めています。

最近の主な成果

- 奈良県「大学等発スタートアップ支援補助金」：3件採択
- 新産業共創たわらもとReBornプロジェクト：2件採択



アントレプレナーシップ教育

本センターでは、大学間連携により多様な知識とリソースを共有し、持続可能な社会とイノベーション創出を目指し、起業家精神と実践力を育成するアントレプレナーシップ教育を行っています。授業やワークショップを通じてリーダーシップや課題解決力を養い、地域・産業界と連携してスタートアップ支援や社会実装力の強化を推進しています。

学生主体のコミュニティ「ならコミ」が学びの環境を広げ、多様な価値観を持つ学生が互いに挑戦を促進しています。



地域資源を活用した実践的な起業家育成プログラムとして、東吉野村でのアントレ合宿では社会課題解決や地域イノベーションの担い手育成を行いました。



キャリアデザイン・ゼミナールの様子



万葉プロジェクト



一般財団法人
三菱みらい
育成財団

三菱みらい育成
財団助成金
(カテゴリー4)に
採択されました!

<https://www.mmfef.or.jp/partners/8065/>



本プロジェクトは、奈良の歴史や文化を象徴する『万葉集』を出発点とし、地域への学びを深め、“自省”・“傾聴”・“共創”により統合的な実践知を育む探究型教養教育です。

対話型協働学習によって歴史的・文化的知見を深め合い、それらの学びを魅力に転換し観光企画や街歩きといった実践に応用するPBL型演習を展開しています。実践後には、“自省”を通じて計画と達成をふり返らせる内面的対話を促進し、加えて、仲間との「聞き合い」による“傾聴”を通じて、当事者性や他者性の認知や自己認識の客観視を深め合います。さらに、他者の視点や経験を引き受け、イメージし、ことばに返しながら“共創”し合うことで個々の知の統合を図ります。こうした段階的かつ循環的な学びを通して、非認知能力を実践的に育み、正解のない問いに向き合いながら、さまざまな課題を主体的に捉え、他者と協働して思考を深め合う力を養い、変化の時代を創造的に切り拓いていく人材の育成を目指しています。



小大連携によるPBL型街歩き授業
奈良女子大学記念館前にて
(令和7年1月)



検証と共有のワークショップ
奈良カレッジズ交流テラスにて
(令和7年2月)

小大連携の発展として、多機関(大阪大学、和歌山大学、東京藝術大学、慶應義塾大学)の研究者と協働して、奈良女子大学附属小学校6年生のしごと合宿(修学旅行)を企画実践しました。現地に足を運び、災害をくぐり抜けた伝承や継承について学びました。



宮城県石巻市と福島県双葉郡をめぐるしごと合宿
大阪大学福島拠点にて(令和7年9月)

奈良の地元産業と連携して、奈良女子大学附属小学校にて小大・産学連携授業を企画実践しています。奈良墨の製造メーカー・墨運堂、奈良発LaQパズルのメーカー・ヨシリツとの授業開発を行っています。



奈良墨の体験授業(3年生)
奈良女子大学附属小学校にて
(令和7年7月)



LaQパズルで“花火”を表現(3年生)
奈良女子大学附属小学校にて
(令和7年7月)



奈良カレッジズ交流テラス

開館時間：平日 8時30分～17時

土日祝・時間外のご利用は別途お問い合わせください。

収容人数：最大約50名



詳しくはこちら

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/04_nucross/



大テーブル



再度テーブル付きチェアを利用し、打ち合わせ、会議の開催も可能です。

発表スペース



スクリーン、プロジェクター、マイク等の機器を貸し出しています。

フリースペース



ソファー席、テーブル席にコンセントがあります。

近鉄奈良駅①番出口から北へ徒歩6分



お問い合わせ先

奈良国立大学機構 奈良カレッジズ連携推進センター

〒630-8506 奈良市北魚屋東町

TEL: 0742-20-3411

Mail: yamato-class@cc.nara-wu.ac.jp

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/

